生　活　環　境　部
環　境　政　策　課
直　通　９３４－４７４１

～沼津のかけがえのない自然環境と生物多様性を未来に残す～

“自然環境学習用リーフレット”を作成しました

■ 概要

沼津市では、かけがえのない自然を次世代に残すため、令和3年度からの 10 年間を期間とする「ぬまづ生物多様性地域戦略」に基づき、生態系調査を行うとともに、自然観察会の開催や生物多様性の保全に関する情報提供を通じて周知啓発を行っています。

今回は、令和3年度の事業報告と令和4年度の事業計画をお知らせいたします。

■ 令和3年度取り組み結果

＜生物分布調査＞

令和3年度は、浮島ヶ原のアクアプラザ遊水池付近に生息する動植物の種類や分布状況を調査しました。その結果、県内では浮島ヶ原でしか自生していない「サワトラノオ」をはじめとする合計 300 種以上の動植物の生息を確認しました。

また、市では調査結果を基に、学習用リーフレットを作成しました（別紙）。リーフレットは今年度の自然観察会に使用するほか、今後子ども達が自主的に浮島の自然観察を行う上での教材として活用していきます。

＜自然観察会＞

令和3年7月、アクアプラザ遊水池で自然観察会を開催し、浮島小学校の児童・保護者計 22 名が参加しました。参加者は、現地で発見した動植物の特徴や名前の由来等について講師の解説を聞きながら、身近な自然や生態系について学び、学校で使用している電子端末を用いて観察シートに取りまとめ、学習の成果としました。

■ 令和4年度取り組み予定

・富士市との広域連携による浮島ヶ原の自然環境保全活動
・生物分布調査…門池公園（通年）
・自然観察会…浮島ヶ原及び門池公園（いずれも夏季）
・生物多様性についての出前講座の開催
・特定外来生物等への対応

知ろう！守ろう！沼津の生きもの

アクアプラザ遊水地版

浮島ヶ原には、特有の湿地性植物や水生生物が生育・生息しています。中でも「アクアプラザ遊水地」は湧き出した地下水を水路にして、昔からの湿原環境が守られています。四季を通じて出会える様々な生きものをそっと観察してみましょう。

いろいろな生きものがお互いにつながり合っていることで、自然の恵みを受けることができるんだよ。

環境イメージキャラクター
沼環ミライちゃん

エコばっくん

人が自然をこわしたり、ほったらかしにしていると、生きものがすみづらくなっちゃうよ。

大切に守ろう サワトラノオ

花期：4～5月

静岡県版レッドリスト：絶滅危惧ⅠB類

サワトラノオ　（サクラソウ科）

大変希少な植物で、静岡県では、浮島ヶ原（沼津市と富士市）にしか自生していません。アクアプラザ遊水地では秋から冬にかけて、ヨシ原の草刈がされ、春にサワトラノオの自生地に日光が届くため、数が増えているようです。里地里山では草刈や下草焼きなど人が管理をすることで守られる自然もあります。

持ち込まない！持ち出さない！「外来生物」

CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION!

もともとその場所にいなかった生きもので、人間によって持ち込まれたものを「外来生物」といいます。中でも、生態系等に被害を及ぼすため特に注意が必要なものを「特定外来生物」といいます。最近では、日本に昔からすんでいたメダカがあまり見られなくなっていますが、これはカダヤシなどの外来生物にエサやすみかをうばわれてしまったことが原因の一つという説もあります。生きものを外から持ち込んだり、持ち出したりすることはやめましょう。

特定外来生物

カダヤシ　（カダヤシ科）

特定外来生物

アカボシゴマダラ　（タテハチョウ科）

特定外来生物

ウシガエル　（アカガエル科）

特定外来生物

オオカワヂシャ　（ゴマノハグサ科）

ミシシッピアカミミガメ　（ヌマガメ科）
通称：ミドリガメ

アメリカザリガニ　（アメリカザリガニ科）

CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION! CAUTION!

観察時の注意

・子どもだけで行かない	・・・	危険な場所もあるので大人といっしょに行きましょう。
・池や湿地に入らない	・・・	急にふかくなっていたり、泥に足をとられたりして大変危険です。
・むやみに触らない	・・・	ヘビやハチなど人に危害を加える生きものもいます。見つけても触らないようにしましょう。
・持ち帰らない、持ち込まない	・・・	希少な生きものの生育場所です。そのままの環境を守りましょう。むやみに生きものを持ち帰ったり、持ち込んだりしないでください。
・肌を露出しない	・・・	長そで長ズボン、歩きやすいクツ、頭には帽子をかぶりましょう。

Proud NUMAZU
～気づく環境・築く未来～

2022年3月　沼津市　環境政策課　Tel:055-934-4741

編集・デザイン：東海プラント分析センター株式会社　写真提供：渡邊 修治　小倉 辰彦

アクアプラザ遊水地でくらす生きものを探してみよう！

みつけた生きものに ✓ をしてね。
どんな生きものなのかを後でしらべてみよう。

植　物

湿地帯の浮島ヶ原には、全国的にも貴重な湿地性植物が多く見られます。

ナヨナヨワスレナグサ （ムラサキ科）

コマツナギ （マメ科）

クサレダマ （サクラソウ科）

ノウルシ（トウダイグサ科）

コウホネ（スイレン科）

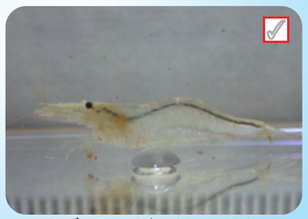
ヒメナミキ （シソ科）

ネムノキ （マメ科）

ヌマトラノオ （サクラソウ科）

水生生物

池、水路、沼、湿地など様々な水辺の環境があり、生息している生きものも違ってきます。

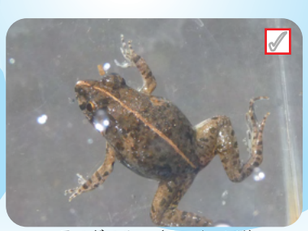

ミゾレヌマエビ （ヌマエビ科）

ミナミテナガエビ （テナガエビ科）

モクズガニ （イワガニ科）

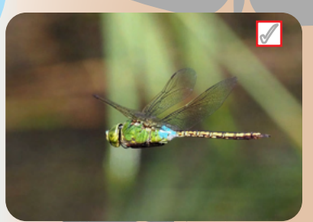
スミウキゴリ （ハゼ科）

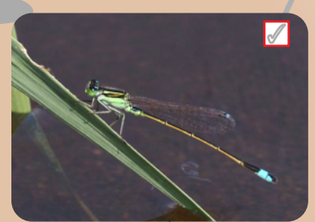
クサガメ （イシガメ科）


ヌマガエル （ヌマガエル科）

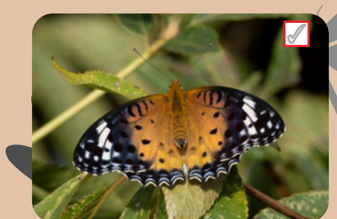
昆　虫

春から秋にかけて、様々な昆虫を見ることができます。
中でもトンボの仲間が多く生息しています。


ギンヤンマ （ヤンマ科）


アオモンイトトンボ （イトトンボ科）

コフキトンボ （トンボ科）


ツマグロヒョウモン （タテハチョウ科）

チョウトンボ （トンボ科）

ヒメガムシ （ガムシ科）

鳥　類

ヨシ原と沼地の湿地環境と、周囲には水田や水路、乾燥した草地などの多様な環境があるため、1年を通して様々な鳥類が利用しています。
また、渡りをする鳥も多く飛来します。

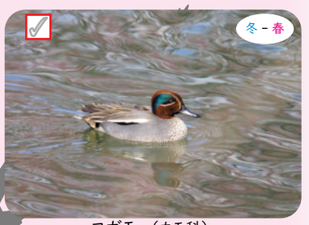
カワセミ （カワセミ科）

アオサギ （サギ科）

ノスリ （タカ科）

ケリ （チドリ科）

オオヨシキリ （ヨシキリ科）



コガモ （カモ科）

ダイサギ （サギ科）

コチドリ （チドリ科）

オオバン （クイナ科）

PICK UP!

静岡県版レッドリスト 要注目種
ミツガシワ （ミツガシワ科）

池や沼の岸辺の湿地に生える抽水植物です。
きれいな水でしか育ちません。約200万年前の氷河期からの生き残りと言われています。

静岡県版レッドリスト 準絶滅危惧
ナガオカモノアラガイ（オカモノアラガイ科）

湿地の水際や植物の葉の上で暮らしています。
浮島ヶ原ではたくさん生息していますが、
全国的に数が減っています。

静岡県版レッドリスト 準絶滅危惧
オオタカ （タカ科）

全長50cm程のタカの仲間で、狩場としてアクアプラザ遊水地を利用しています。
ハトなどの他の鳥を襲って食べます。